科目ナンバリング	U-LAS02 20006 LJ35						
授業科目名 <英訳>	近代芸術論Ｂ Theory of Modern Arts B			担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 植田　彩芳子		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	芸術・文学・言語(各論)	使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・後期	曜時限	水2	配当学年	全回生	対象学生	全学向

（総合人間学部の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

[授業の概要・目的]

テーマ：近代京都日本画史

明治期から昭和戦後まもなくの時期までの、京都における日本画の流れを概観する。当時の社会背景と制作状況にも目を向け、日本画の近代化のプロセスをその表現の特徴とともに理解することを目的とする。授業内では、できるだけ多くの作品画像を紹介したい。

[到達目標]

近代京都の日本画の代表的作例について、時代ごとにわけて詳細に分析することによって、その表現の特徴などを理解し、作品の歴史的意義を考察できるようになる。

[授業計画と内容]

1	イントロダクション	
2、3	幕末・明治初期	（如雲社と京都府画学校の設立）
4、5	明治前・中期	（竹内栖鳳、山元春挙の台頭）
6、7	明治後期から大正期	（文展・帝展で活躍した画家を中心に）
8、9	大正期	（国展で活躍した画家を中心に）
１０、１１	大正、昭和初期	（帝展で活躍した画家を中心に）
１２	戦争の時代	（小早川秋聲など）
１３	戦後まもなくの動き	
１４	まとめ、日本画の調べ方、作品解説の書き方	
１５	フィードバック	

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

期末レポートの成績(70%)　平常点評価(30%)
＊平常点評価には、授業への参加状況、授業内での発言などを含む。
＊期末レポートは授業に沿った内容で論点を明確にしており、自らの考察を展開しているものについて、高い点を与える。

[教科書]

使用しない

近代芸術論Ｂ(2)へ続く↓↓↓

近代芸術論Ｂ(2)

[参考書等]

（参考書）
植田彩芳子、中野慎之、藤本真名美、森光彦 『近代京都日本画史』（求龍堂）ISBN:978-4-7630-2017-8

[授業外学修（予習・復習）等]

美術館・博物館や神社仏閣などに積極的に足を運び、各自で美術作品を見学すること。

[その他（オフィスアワー等）]

授業終了後10分間程度教室にて待機するので、質問があればその時間を利用すること。

[主要授業科目（学部・学科名）]